

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年01月25日(月)

事務事業		地球温暖化対策事業		担当課	環境課	担当係	環境政策係	管理番号	3903	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	➡ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計 政画 分施 野策 別名	大項目	200004	安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令 個別計画 等	深谷市環境基本計画 深谷市地球温暖化対策実行計画 深谷市新エネルギーの導入及び活用施策基本方針 深谷市住宅用省エネ設備設置費補助金交付要綱				
		中項目	200003	人と自然にやさしいまちづくり						
	小項目	200001	自然・生活環境の保全							
事業概要		地球温暖化防止のため、太陽光発電システム等の住宅用省エネ設備設置者に補助金を交付し、省エネ設備の普及促進及び環境意識の高揚を図るとともに、深谷市地球温暖化対策実行計画に基づき市の事務・事業における温室効果ガス排出削減及び環境配慮を推進する。								
目的 ※何のために		自然エネルギーの有効利用や行政運営を通じた温室効果ガス排出量の削減及び環境への配慮								
対象 ※誰・何を対象に		自宅に住宅用省エネ設備を設置した市民及び市の事務・事業								
手段 ※どのように		設置者に設置経費の一部について補助金を交付し、市の事務・事業は、環境マネジメントシステム（EMS）の体制を活用し、温室効果ガス排出量の削減及び管理を行う。								
成果 ※何を求めるか		温室効果ガス排出量の削減等地球環境への負荷の軽減を図る。								
執行体制		■ 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費 住宅用省エネ設備設置費補助事業	12,000,000	
		一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費 地球温暖化対策実行計画推進事業	43,260	
			00		00		00		0	
			00		00		00		0	
			00		00		00		0	
本事業の 主な業務		・ 住宅用省エネ設備補助金交付					・			
		・ 地球温暖化対策実行計画の推進					・			
		・ 環境マネジメントシステムの運用					・			
		・ グリーン購入方針の運用					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画					地球温暖化対策実行計画策定方針		
事業費	予算（現額）	12,048,000	12,048,000	12,048,000	12,048,000	12,047,000	
	決算額	12,029,380	12,043,700	12,043,260	0	0	
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,029,380	12,043,700	12,043,260	12,048,000	12,047,000	
	従事職員数(人)	0.70	1.45	1.50	1.47	1.47	
	人件費相当試算 ※1	5,445,300	11,283,900	11,791,500	11,977,560	11,977,560	
(総事業費試算)		17,474,680	23,327,600	23,834,760	24,025,560	24,024,560	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地球温暖化対策事業	担当課	環境課	担当係	環境政策係	管理番号	3903
<div>■ ① 現状のまま継続</div> <div>□ ② 見直して継続</div> <div>□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div> <div>□ ④ 目的達成による終了</div> <div>□ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>			評価の内容説明				
			住宅用省エネ設備設置費補助事業については、家庭の温室効果ガス排出量削減に寄与しているため、引き続き実施して行く必要がある。市の事務事業における温室効果ガス排出量削減については、引き続き地球温暖化対策実行計画に基づき取り組みを進めていく。				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者	環境課長 前野 武一			

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	特になし
--------	------

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	住宅用省エネ設備の対象事業について、引き続き国、県及び県内市町村の状況や市場動向を勘案して検討していく必要がある。市の事務事業については、本庁舎をはじめ施設の更新が予定されており、エネルギー効率の改善が見込まれるが、エネルギー使用量については注視していく必要がある。
-------	---

9. 評価指標グラフ

